こどもの未来を、みんなで育むまち

こどもの健やかな成長は、まちの未来そのものです。子育てを取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、20年後、30年後も住みよい仙台を目指し、共に子育てについて考えませんか。

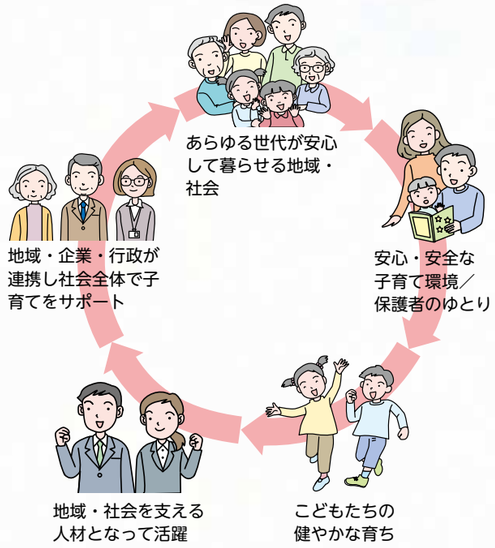
オール仙台で子育て応援

近年、少子化が急速に進んでいます。少子化の進行は、将来の社会保障やインフラの維持にも影響を及ぼす、一人一人にとって身近な問題です。また、核家族や夫婦共働きが一般的になった現代の子育てにおいては、身近に頼れる人がいないことで孤立しがちであったり、仕事と家庭の両立や経済的負担に不安を感じたりする方も少なくありません。

このような中、本市では、こどもを産み育てたいと望む方々がその思いを実現できるよう、「みんなで支える子育てが楽しいまち・仙台」を目指し、ライフステージに応じた切れ目のない支援や、経済的負担の軽減、こどもの居場所の整備など、さまざまな面からこども・子育てを支援しています。もとより、「子育てが楽しいまち」の実現には、子育てしやすい環境を社会全体で育むことが必要であり、行政だけではなく企業や市民一人一人の理解と協力が大切となります。

こどもを育てることは、未来の担い手を育てること。特別な支援は難しくても、こどもに関心を持ち、見守るだけでも大丈夫。笑顔とにぎわいに満ちた仙台の未来を、一緒に描いていきましょう。

「みんなで育む」ことで生まれる好循環のイメージ



地域でこどもと関わる方々にお話を伺いました

「おかえり」の声がけから始めてみませんか

荒町地区連合町内会会長
荒町地区社会福祉協議会会長
武川由美子さん

家族の帰りが遅く孤食になりがちなこどもや一人暮らしの高齢者に食事を提供する「すまいる食堂」を行っています。

特に印象的だったのが、初めは笑顔が少なかった高齢の参加者が、こどもに話しかけられたことをきっかけに、毎回ニコニコして来るようになりました。そんな様子を見ると私もうれしくなるし、力をもらえます。

地域の大人の方には、下校してきたこどもに「おかえり」と声をかけてもらえれば。普段から関係をつくり、見守りや声がけをすることでこどもや親の安心につながると思います。

こどもたちに元気と刺激をもらっています！

仙台市シルバー人材センター
会員　伊東文男さん

シルバー人材センターの会員が、市が実施する「朝のこどもの居場所づくりモデル事業」の支援員となり、袋原小学校の児童が安全に過ごすことができるよう取り組んでいます。

こどもたちは本当に活発で、けががないように気を付けながらの活動ですが、こどもたちと触れ合うことで支援員もエネルギーをもらっています。

このモデル事業に限らず、地域の中での多世代交流がどんどん芽生えていけば、社会がいい方向に向くのではないかと感じます。

子育てをフルサポート

市では、全てのこどもが健やかに成長できるよう、さまざまな取り組みを進めています。子育て支援事業の一部をご紹介します。

こどもの健やかな育ちを支える

こどもの遊びの環境を充実させるための取り組みや、体験を支える取り組みを行っています。

■屋内遊び場整備

西公園南側区域に、天候に関係なく利用できる大型の屋内遊び場を整備しています。地上２階建てで、令和11年中のオープンを予定しています

■児童館・児童センター

遊びや交流を通じてこどもたちの健全な成長を支える施設で、０歳から18歳未満のこどもやその保護者が自由に利用でき、乳幼児親子を対象とした行事も開催しています。おおむね小学校区ごとに設置されているので、気軽に遊びに出かけることができます

■ハッピー・ファミリー・ライド

土・日曜日、祝休日などに市バス・地下鉄の運賃が大人（中学生以上）１人につき小学生２人まで無料となる制度。市バス・地下鉄を利用した移動がお得になります

経済的な負担を軽減

子育て家庭の生活に密接に関わる費用を助成し、育児にかかる経済面の不安・負担を軽減、「３つの０円（無償化）」を実現しました。

■こども医療費助成の拡充

対象を「15歳到達年度末まで」から「18歳到達年度末まで」に拡大し、500円の一部負担金も廃止しました

■第２子以降の保育料無償化

年齢や施設の利用状況にかかわらず、世帯のこどもの数を上から数える方式に変更し、保育施設などでの第２子以降の保育料免除、第３子以降の副食費免除などを行っています

■市立小学校の学校給食費を完全無償化

国や県からの交付金に加えて本市が必要な費用を負担することで、こどもたちに十分な栄養価のある給食を無償で提供します

仕事と子育ての両立を支える

誰もが働きながら安心してこどもを産み育てられるよう、仕事と子育てを両立しやすい環境づくりに取り組んでいます。

■放課後児童クラブ

地域の児童館を拠点に、小学生が放課後などの時間を過ごします。安全・快適な環境づくりを進めるとともに、利用を希望する全ての児童を受け入れています

■仕事と家庭の両立支援

市内の企業などを対象に、従業員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けたセミナーを実施しています。また、男性従業員の育児休業取得を推進する企業などに対し、取得実績に応じて奨励金を支給しています

こどもや子育て家庭の居場所をつくる

こどもや保護者が安心して過ごせる居場所づくりに取り組んでいます。

■中高生年代の居場所づくりモデル事業

公共スペースを活用し、中学・高校生の年代の方が居心地よく自由に過ごせる日常的な居場所を提供しています

■のびすく（子育てふれあいプラザなど）

市内に５カ所ある地域子育て支援拠点。乳幼児と保護者のための交流の場や、イベントや育児相談、一時預かりなどを行っています。「のびすく仙台」は、令和10年度にアエル５階に移転し、機能を拡充予定

■保育所等地域子育て支援センター（室）

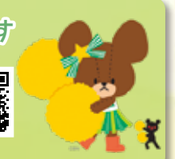
市内27カ所の保育施設で乳幼児の親子を対象に施設の開放、イベントや育児相談などを行っています

■朝のこどもの居場所づくりモデル事業

小学校の始業時間前に児童の安全な居場所をつくる事業として令和７年度にスタート。共働き家庭などの児童を対象に、学校施設内に開設しています。現在、袋原小、北中山小、中野栄小の３校で実施しています

市の子育て情報を発信しています

行政サービスや季節のお出かけ情報などを市公式インスタグラムアカウント「せんだいことぐらむ（ID:@sendai_kotogram）」で発信しています



この特集に関するお問い合わせは、子育て応援都市推進課☎214･2129、FAX214･8784